

風流印字

●発行
(株)和歌山印刷所
〒640-8412 和歌山市狐島609-9
TEL.073-451-4111
FAX.073-452-2631

●発行年月日
2018年9月1日

厳しい暑さが残る中、次第に夜が長くなる「長月」の9月になりました。
こんにちは！和歌山印刷所、通称「わいん」です。
次第に秋らしさがやってくるので、衣類の整頓をしなければ……
今月号は我が社の取り組んでいる「整頓（資材管理）」に関する特集です。

■5S「整頓」

以前、第2号で5Sについてご紹介しました。

簡単におさらいしますと、5Sとは「整理・整頓・清掃・清潔・^{しつけ}躰」の5つのこと。なかでも「整頓」とは「必要なものを誰でも使いやすいように配置すること」です。

今回は整頓による弊社の資材管理についてご紹介します。

■整頓による資材管理

弊社は印刷会社ですから、日々多様かつ多量のインキを発注・使用しています。基本となるCMYKの4色以外にも多種類のインキを扱っているため、印刷の注文をいただいた際にインキが足りない！なんてことにならないためにも、どのインキが現在どれだけ在庫されているかを把握しておくことが大切になってきます。「このインキは残りが〇〇缶になったら△△缶注文しよう！」という風に、具体的な数量を取り決めて、誰でも見えるように掲示しておく在庫管理方法があります。しかし、単に数量を横に書くだけだと、インキ棚と横の数字をいちいち見比べなければなりません。それを解消するのが「発注点管理」です。



■発注点管理

棚と数字を見比べる手間をなくそうと思ったら、棚自体にナンバリングしてあげればいいのです。写真のようにインキを置いておけば、棚を見るだけで発注が必要なのか、どれだけ発注すればいいのかが一目瞭然です。

また、「先入れ先出し方式」で使用していくので古いインキがいつまでも残ることもありません。これはコンビニの品出しのやり方にも採用されています。新たに発注した分は後ろから追加していき、手前に押し出される古いものから順に使用します。

弊社ではこのように発注点管理がなされているので、必要なインキが不足することも、不要な在庫を抱えることもありません。

使用頻度の高いものほど管理方法を見直したときの効果も大きくなります。少し間が空くと思いますが、次の5S特集では「清掃」についてご紹介したいと思います。



わいわい探検隊！

総務課長なやんが
会社のインキサイドを
レポートします！



⑥『^{とくしょく}特色インキをつくる^{ちやうにく}調肉室』

わいんの工場には調肉室と呼ばれる部屋があります。ここでは、数種類のインキを混ぜて1色で印刷するための特色インキを練る調肉作業が行われています。

この作業が大変で、少しでも混ぜる量が違えば印刷の色が変わってしまいます。昔は調肉専用の職人がおりましたが、現在は印刷オペレーターが調肉作業を行っています。そのため、調肉する人によって色のばらつきがないよう、インキの配合量をデータベース化しています。

実際に調肉しているところは迫力があります。工場の片隅の小さな部屋ですが、わいんにとってなくてはならない仕事場のひとつです。

印刷七転び八起き

ちよいとゴッソで小断をひろう

題目 特色インキ

弥七がある印刷会社のニュースレター(N)を読んでいた。

弥七「なあ喜八。今、印刷の『特色』って文字を目にしたんだが、どういうことだい？」

喜八「ああ、このNの表面を見て言ってるな…」一言で言やあ、CMYK以外の色のことだ」

弥七「印刷の仕方で独自のカラーを出してとか、そういう話じゃねえのか！」

喜八「お前さん、うまいこと言ってるみてえだが印刷業界の『特色』は意味が違えんだよ」

弥七「そういや前に、印刷はCMYKで色を表現するとかんとか言ってたな」

喜八「そうさ。だが、CMYKでは表現できない色、たとえば「金」とか「白」とかって色は専用のインキがあるのさ。これらはズボットカラーって呼ばれて、インキメーカーが見本帳を出してるのさ」

弥七「おい、ちょっと待て！ さっきのNに数種類のインキを混ぜ…とか書いてるぞー！ なんか間違ってるねえか？」

喜八「間違っちゃいねえさ。特色にはもう一つ意味合いがあつて、黒以外の単色で印刷するときなんかは、『特色で印刷する』とか言ったりすんだよ」

弥七「どういふことだい？」

喜八「例えば緑1色のチラシがあると、これをCMYKの4色刷りで印刷するとなりやあ、手間がかかっちゃう。だったら、先にCMYKのインキを混ぜ合わせて緑色を作っちゃえば、1色刷りで済むじゃねえか」

弥七「なるほどな、そういうときも『特色』って言葉を使うのかい。それじゃあ今度から印刷してもらうときは、特色で頼もうかね。もちろん、割引してくれんだろ？」

喜八「おいおい弥七、いくらお前さんの頼みでも『特別色』をつけたりはできねえよ」

どうもお後がよろしいようで…。



走れ、営業マン!!



暑い夏はクーラーの効いた部屋でアイス三昧!!
向井友祐(営業2部:24歳)です!

早いもので大学生から始めた一人暮らしも今年で7年目になりました。

7年目となると大抵のことはできるようになりますし、自由なのですごく快適です。

今年は厳しい暑さなので、休日の日も外出せず、涼しい部屋でアイスを食べて過ごすことが多くなりました。

ハーゲンダッツのような高級アイスも美味しいですが、私のイチ押しは「ガリガリ君」です。

定番のソーダ味に始まり、みかんや梨といった果実系、この頃はコーンポタージュ味等様々です。

みなさんのイチ押しのアイスはなんですか??



スポーツの秋、一緒にテニスしませんか?
小島直紀(総務部課長:34歳)です!

秋が近づいてくると身体を動かしたくなってきましたか?

私は高校の部活でしていたテニスを今でも続けています。

得意ショットは、フォアハンドに回り込んでの逆クロスとバックハンドのダウン・ザ・ライン! 逆にボレーとサーブが苦手でミスばかりです。あまりの暑さに夏はサボっていましたが、そろ

そろ始動していききたいと思っています。実力的には、「まだまだだね」といったところですが、「エースを狙え」の精神で頑張っていきます。お誘いいただければどこにでも行きますので、是非お声掛けください!



和歌山印刷所ニュースレター・アンケートのコーナー

今回の記事で印象に残った記事などがありましたら下記のチェックボックスにチェックを入れ、感想をご記入の上で FAX を送っていただくとクオカード (500 円分) を抽選でプレゼントいたします。(FAX/073-452-2631)

☐特集「整頓(資材管理)」 ☐わいわい探検隊 ☐印刷七転び八起き ☐走れ、営業マン!!

ご意見・ご感想等(御社名/

御氏名/

)

編集後記

第100回全国高校野球選手権大会が大阪桐蔭高校の優勝で幕を閉じました。私の母校でもある智辯和歌山は1回戦で惜しくも敗れてしまいました。春の選抜で彼らと優勝を争ったことを思うと雪辱を果たせなかったのが残念でなりません。炎天下の全校応援は今も昔も遠慮したいですが(笑)、近頃は高校野球を見るたびに当時の級友に会いたくなります。和歌山を離れてしまった人たちにもまたどこかで再会できたらと思います。

(編集長: 椿原健太)